



## 2018年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2017年8月9日

上場会社名 M-ライフネット生命 上場取引所 東  
 コード番号 7157 URL <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩瀬大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部長 (氏名) 木庭康宏 TEL 03-5216-7900  
 四半期報告書提出予定日 2017年8月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2018年3月期第1四半期の業績（2017年4月1日～2017年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常損益		四半期純損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第1四半期	2,651	2.2	136	-	109	-
2017年3月期第1四半期	2,594	13.6	△125	-	△124	-

	1株当たり四半期純損益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2018年3月期第1四半期	2	13	-	-
2017年3月期第1四半期	△2	48	-	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第1四半期	32,826	13,757	41.9	268.98
2017年3月期	31,934	13,645	42.7	266.80

(参考) 自己資本 2018年3月期第1四半期 13,757百万円 2017年3月期 13,645百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2018年3月期	-				
2018年3月期（予想）		0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2018年3月期の業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常損益		当期純損益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	11,000	8.9	△300	-	△300	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付資料2ページ「1(3)業績予想」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年3月期1Q	51,145,000株	2017年3月期	51,145,000株
② 期末自己株式数	2018年3月期1Q	一株	2017年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年3月期1Q	51,145,000株	2017年3月期1Q	50,175,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当社は、2017年8月10日（木曜日）午前10時から、機関投資家、アナリスト向けに、第1四半期決算の電話会議を開催する予定です。電話会議における説明内容は、終了後、当社株主・投資家情報ウェブサイト（<http://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績 .....	1
(2) 財政状態 .....	1
(3) 業績予想 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

**契約の状況**

当第1四半期累計期間の新契約の年換算保険料\*1は、前年同期比100.5%の343百万円、新契約件数は、前年同期比106.7%の7,793件となりました。当第1四半期会計期間末の保有契約の年換算保険料\*1は、前事業年度末比101.7%の10,263百万円、保有契約件数は、前事業年度末比101.6%の243,610件となりました。また、当第1四半期累計期間の解約失効率\*2は、6.5%（前年同期7.0%）となりました。

\*1.年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払い方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額をいいます。当社商品の保険料は全て月払いのみとなっているため、1ヶ月当たりの保険料に12を乗じたものを年換算保険料としています。

\*2.解約失効率は、解約・失効の件数を月々の保有契約件数の平均で除した比率を年換算した数値です。

**収支の状況**

当第1四半期累計期間の保険料等収入は、保有契約件数の増加に伴い、前年同期比105.9%の2,588百万円と増加しました。また、資産運用収益は、前年同期比106.2%の54百万円となりました。その他経常収益は、9百万円となりました。この結果、当第1四半期累計期間の経常収益は、前年同期比102.2%の2,651百万円となりました。

保険金等支払金は、前年同期比82.9%の467百万円となりました。保険金及び給付金支払額の保険料に対する割合は、前年同期の21.5%から15.7%に減少しました。責任準備金等繰入額は、前年同期比100.1%の912百万円となりました。責任準備金繰入額の保険料に対する割合は、前年同期の38.8%から34.9%となりました。事業費は、前年同期比116.8%の1,005百万円となりました。事業費のうち、営業費用は前年同期比125.4%の425百万円、保険事務費用は前年同期比123.9%の166百万円、システムその他費用は前年同期比106.7%の413百万円となりました。その他経常費用は、前事業年度に保険業法第113条繰延資産を一括償却したため、当第1四半期累計期間は同繰延資産の償却費を計上していないことなどにより、前年同期比33.6%の128百万円となりました。これらにより、当第1四半期累計期間の経常費用は前年同期比92.4%の2,514百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経常損益は、前年同期の経常損失125百万円に対して、経常利益136百万円となりました。四半期純損益は、前年同期の四半期純損失124百万円に対して、四半期純利益109百万円となりました。

また、生命保険会社の収益性を示す指標のひとつである基礎利益は、前年同期の100百万円のマイナスに対して、159百万円のプラスとなりました。内訳は、危険差益616百万円、費差損454百万円、利差損2百万円となりました。

## (2) 財政状態

**資産、負債及び純資産の状況**

当第1四半期会計期間末の総資産は、32,826百万円（前事業年度末31,934百万円）となりました。主な勘定残高として、高格付けの公社債を中心とする有価証券は、26,691百万円となりました。

負債は、保険料の増加に伴い責任準備金が増加したことから、19,068百万円（前事業年度末18,288百万円）となりました。主な勘定残高は、責任準備金18,068百万円（うち、危険準備金1,425百万円）、支払備金345百万円となりました。

純資産は、主に四半期純利益を計上したため、13,757百万円（前事業年度末13,645百万円）と増加しました。

当第1四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、2,689.5%（前事業年度末2,723.0%）となり、十分な支払余力を維持しています。

**キャッシュ・フローの状況**

当第1四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、保険料等収入が増加したことなどにより、902百万円の収入（前年同期758百万円の収入）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有価証券の取得により、927百万円の支出（前年同期889百万円の支出）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、4百万円の支出（前年同期2百万円の支出）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末残高は、2,974百万円（前事業年度末3,004百万円）となりました。

(3) 業績予想

2017年度（2018年3月期）の業績予想は、以下のとおりです。本業績予想は、経常収益、経常損益及び当期純損益を開示するものです。

(百万円)

	経常収益	経常損益	当期純損益
2017年度業績予想 (2018年3月期)	11,000	△300	△300
(参考) 2016年度実績 (2017年3月期)	10,096	△2,031*1	△1,889*1

\*1 2016年度において、保険業法第113条繰延資産を一括償却したことにより、保険業法第113条繰延資産償却費2,120百万円を計上しました。なお、保険業法第113条繰延資産償却費考慮前の経常損益は88百万円です。

引き続き、当社は、毎四半期における決算発表、業績速報等の実績値の開示の充実など、マニフェストに掲げている積極的な情報開示を推進することで、ステークホルダーの皆さまの当社に対する理解の促進に努めます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2017年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2017年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	1,004	974
買入金銭債権	1,999	1,999
金銭の信託	995	1,501
有価証券	26,372	26,691
国債	9,876	8,772
地方債	1,496	1,496
社債	11,751	12,566
株式	334	337
外国証券	819	800
その他の証券	2,095	2,717
有形固定資産	123	114
無形固定資産	502	534
代理店貸	1	1
再保険貸	30	66
その他資産	904	941
未収金	742	761
その他の資産	161	180
資産の部合計	31,934	32,826
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	17,501	18,414
支払備金	311	345
責任準備金	17,189	18,068
代理店借	39	32
再保険借	68	73
その他負債	469	337
特別法上の準備金	19	21
価格変動準備金	19	21
繰延税金負債	189	190
負債の部合計	18,288	19,068
<b>純資産の部</b>		
資本金	12,136	12,136
資本剰余金	12,136	12,136
利益剰余金	△11,116	△11,007
株主資本合計	13,157	13,266
その他有価証券評価差額金	488	491
評価・換算差額等合計	488	491
純資産の部合計	13,645	13,757
負債及び純資産の部合計	31,934	32,826

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
経常収益	2,594	2,651
保険料等収入	2,444	2,588
保険料	2,347	2,521
再保険収入	97	66
資産運用収益	51	54
利息及び配当金等収入	51	51
金銭の信託運用益	-	2
その他経常収益	99	9
支払備金戻入額	96	-
その他の経常収益	2	9
経常費用	2,720	2,514
保険金等支払金	564	467
保険金	375	260
給付金	130	134
再保険料	59	73
責任準備金等繰入額	911	912
支払備金繰入額	-	33
責任準備金繰入額	911	879
資産運用費用	0	0
支払利息	0	0
金銭の信託運用損	0	-
事業費	861	1,005
その他経常費用	382	128
経常利益又は経常損失（△）	△125	136
特別損失	1	1
特別法上の準備金繰入額	1	1
価格変動準備金繰入額	1	1
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△126	134
法人税及び住民税	0	25
法人税等調整額	△3	-
法人税等合計	△2	25
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△124	109

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△126	134
減価償却費	58	59
支払備金の増減額 (△は減少)	△96	33
責任準備金の増減額 (△は減少)	911	879
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	1	1
利息及び配当金等収入	△51	△51
支払利息	0	0
代理店貸の増減額 (△は増加)	△0	△0
再保険貸の増減額 (△は増加)	△69	△35
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	251	△25
代理店借の増減額 (△は減少)	10	△6
再保険借の増減額 (△は減少)	2	4
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△146	△136
その他	0	△2
小計	745	853
利息及び配当金等の受取額	87	52
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△73	△3
営業活動によるキャッシュ・フロー	758	902
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
金銭の信託の増加による支出	-	△500
有価証券の取得による支出	△1,001	△2,100
有価証券の売却・償還による収入	200	1,770
資産運用活動計	△801	△830
営業活動及び資産運用活動計	△42	71
有形固定資産の取得による支出	-	△8
無形固定資産の取得による支出	△87	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△889	△927
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△132	△29
現金及び現金同等物の期首残高	2,734	3,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,601	2,974



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。